

平成24年度 春日部市議会

議会報告会資料

平成24年9月定例会



厚生福祉委員会

平成24年10月14日（日）教育センター視聴覚ホール

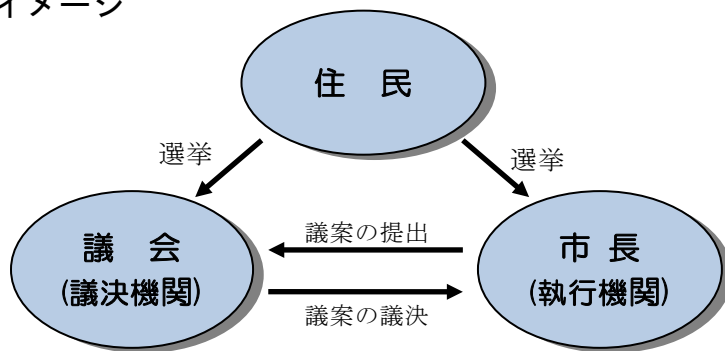
# 1. 議会の役割

地方自治体では、住民が議会の議員と首長（知事、市町村長）を直接選挙で選ぶ「二元代表制」をとっています。

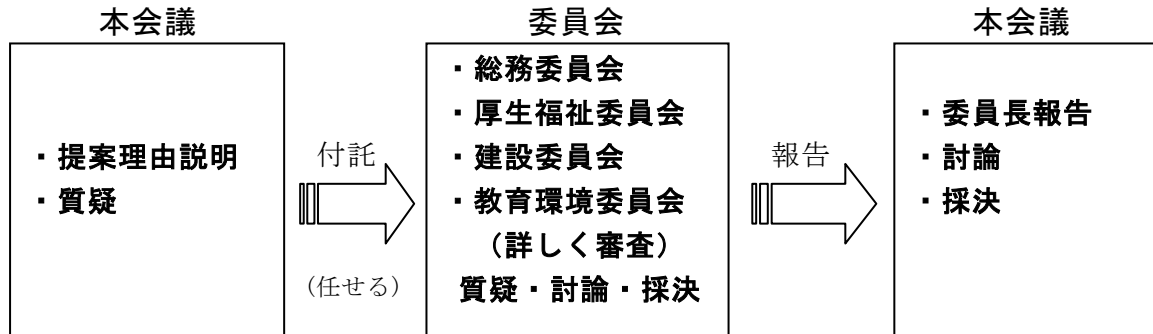
この「二元代表制」の特徴は、議会と首長の双方が住民の代表であり、議会と首長それぞれが住民に対して直接責任を負っています。

議会は、地方自治体の予算や条例など行政運営の方針を決定するため「議決機関」として、また、首長は、議会の決定に基づき市政運営を行う「執行機関」として、独立・対等の立場で、相互の抑制と均衡によって緊張関係を保ちながら行政運営を行っています。

## ◆二元代表制のイメージ



# 2. 議案審議の流れ



1. 議案の提出権は市長と議員にあり、一定の手続きを経て、条例の制定、予算・決算など、市政の重要な案件が議案として議会に提出されます。本会議では議案提出者が提案理由の説明を行います。議員は議案に対する質疑を行い、市長などが答弁を行います。
2. 議案はさらに詳しく審査するために委員会に付託（任せる）されます。  
(人事案件等の議案は、委員会へ付託せず、本会議のみで審議を行う場合があります。)
3. 委員会の審査を終えると再び本会議を開き、委員長が審査結果について委員長報告をいたします。議案によっては賛否の討論があり、続いて採決が行われます。議案は出席議員の過半数の賛成で成立します。
4. 成立した議案に基づき、市長は市政の運営に当たります。

### 3. 9月定例会の議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議案第 58 号	白岡町の市制施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 1. 春日部市公民館条例 2. 春日部市立体育施設条例 3. 春日部市民文化会館条例	教育環境	原案可決
議案第 59 号	春日部市税条例の一部改正	総務	原案可決
議案第 60 号	春日部市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正	厚生福祉	原案可決
議案第 61 号	春日部市防災会議条例及び春日部市災害対策本部条例の一部改正	総務	原案可決
議案第 62 号	春日部市火災予防条例の一部改正	総務	原案可決
議案第 63 号	埼葛斎場組合理約の変更	総務	原案可決
議案第 64 号	財産の無償貸付	教育環境	原案可決
議案第 65 号	財産の取得（春日部市春日部消防署武里分署・備後分署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車CD-I型）	総務	原案可決
議案第 66 号	財産の取得（東中学校給食用備品一式購入）	教育環境	原案可決
議案第 67 号	平成23年度春日部市水道事業会計未処分利益剰余金の処分	建設	原案可決
議案第 68 号	平成23年度春日部市一般会計決算認定	各委員会	認定
議案第 69 号	平成23年度春日部市国民健康保険特別会計決算認定	厚生福祉	認定
議案第 70 号	平成23年度春日部市後期高齢者医療特別会計決算認定	厚生福祉	認定
議案第 71 号	平成23年度春日部市介護保険特別会計決算認定	厚生福祉	認定
議案第 72 号	平成23年度春日部市土地取得特別会計決算認定	総務	認定
議案第 73 号	平成23年度春日部市下水道事業特別会計決算認定	建設	認定
議案第 74 号	平成23年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計決算認定	建設	認定
議案第 75 号	平成23年度春日部市立看護専門学校特別会計決算認定	厚生福祉	認定
議案第 76 号	平成23年度春日部市水道事業会計決算認定	建設	認定
議案第 77 号	平成23年度春日部市病院事業会計決算認定	厚生福祉	認定
議案第 78 号	平成24年度春日部市一般会計補正予算（第3号）	各委員会	原案可決
議案第 79 号	平成24年度春日部市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生福祉	原案可決
議案第 80 号	平成24年度春日部市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	厚生福祉	原案可決
議案第 81 号	平成24年度春日部市介護保険特別会計補正予算（第1号）	厚生福祉	原案可決
議案第 82 号	平成24年度春日部市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	建設	原案可決
議案第 83 号	平成24年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	建設	原案可決
議案第 84 号	平成24年度春日部市立看護専門学校特別会計補正予算（第1号）	厚生福祉	原案可決
議案第 85 号	平成24年度春日部市病院事業会計補正予算（第1号）	厚生福祉	原案可決

### 陳情

陳情番号	件名	意見交換を行った委員会
陳情第 2 号	春日部市自治基本条例の一部の改変を求める陳情	総務
陳情第 3 号	「中小企業金融円滑化法」期限切れに伴う中小企業支援に関する意見書	教育環境

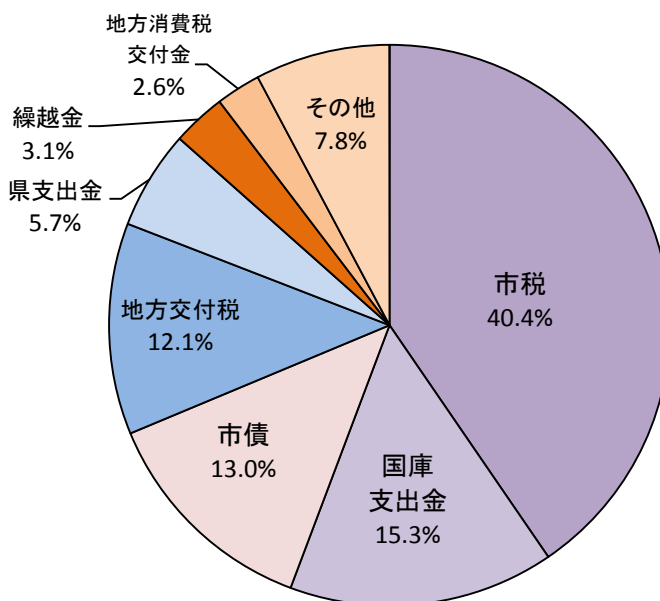
## 4. 平成23年度会計別の決算概要

### ■一般会計

#### 《歳入》

項目	決算額(円)	構成比(%)
市税	27,356,628,325	40.4
国庫支出金	10,342,037,377	15.3
市債	8,777,052,000	13.0
地方交付税	8,229,619,000	12.1
県支出金	3,845,600,631	5.7
繰越金	2,087,626,074	3.1
地方消費税交付金	1,739,818,000	2.6
その他	5,254,294,409	7.8
合計	67,632,675,816	100.0

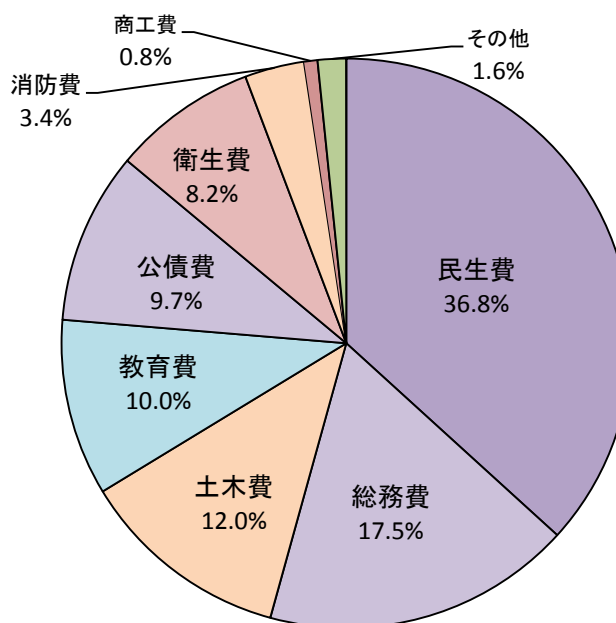
※「その他」は、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、諸収入の13項目



#### 《歳出》

項目	決算額(円)	構成比(%)
民生費	23,970,386,322	36.8
総務費	11,445,149,942	17.5
土木費	7,834,298,302	12.0
教育費	6,526,767,153	10.0
公債費	6,351,860,485	9.7
衛生費	5,346,120,633	8.2
消防費	2,204,057,415	3.4
商工費	491,720,265	0.8
その他	1,055,857,602	1.6
合計	65,226,218,119	100.0

※「その他」は、議会費、労働費、農林水産業費、諸支出金の4項目



### ■特別会計

会計区分	歳入決算額(円)	歳出決算額(円)
国民健康保険	28,143,294,539	26,537,330,462
介護保険	11,705,981,500	11,106,367,810
下水道事業	6,007,978,836	5,947,094,709
後期高齢者医療	1,763,626,606	1,724,322,708
土地取得	746,352,485	746,352,485
西金野井第二土地区画整理事業	206,135,076	192,587,527
看護専門学校	148,034,209	144,845,234
合計	48,721,403,251	46,398,900,935

### ■企業会計

会計区分	収支区分	決算額(円)
水道事業	収益的収入	4,258,134,069
	収益的支出	4,128,736,208
	資本的収入	815,216,000
	資本的支出	1,498,126,882
病院事業	収益的収入	6,758,467,707
	収益的支出	6,717,595,373
	資本的収入	480,566,508
	資本的支出	382,453,667

※「収益的収入・収益的支出」とは、企業の一事業年度の経営活動に伴い発生したすべての収入または支出をいう。また、「資本的収入・資本的支出」とは、将来の経営活動に備えて行う施設整備や企業債の償還金等の支出、並びにその財源となる企業債等の収入をいう。

## 5. 厚生福祉委員会所管分について

### (1) 厚生福祉委員会の所管事項について

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 福祉行政について   | 2. 健康保険行政について |
| 3. 看護専門学校について | 4. 市立病院について   |

### (2) 平成24年9月定例会における主な審査案件及び審査結果

#### ①議案第60号 春日部市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について

議案の概要	<p>現在、子ども医療費の助成は、通院分が満7歳の誕生月の月末まで、入院分が中学校修了までですが、来年4月から、通院分も中学校修了までと助成対象を拡大するとともに、受給資格者の明確化を行います。</p>	
本会議質疑 (主なもの)	<p>Q…今の段階で助成対象の拡大を行う理由を伺いたい。 A…助成年齢の拡大は、以前から重要な子育て支援策として認識し検討課題としていました。本市の次世代育成支援行動計画に掲げる主要な施策はほぼ達成できる状況となったため助成対象の拡大に着手し、来年4月からの制度改正の事前準備を考え、今定例会での条例改正を提出しています。</p> <p>Q…軽易な症状による小児科医の負担増への対策を伺いたい。 A…受給資格証等の関係書類や広報かすかべなどへの適正受診を求めるお知らせを掲載することで、適正受診の普及啓発に努めます。</p>	
委員会審査	質疑 (主なもの)	<p>Q…県内市町村の対象年齢の状況について伺いたい。 A…平成24年4月現在、入院については18歳の年度末までが2町、15歳の年度末までが58市町村、12歳の年度末までが2町、9歳の年度末までが1市です。また、通院については、18歳の年度末までが2町、15歳の年度末までが43市町村、12歳の年度末までが7市、9歳の年度末までが3市、6歳までが1市、就学前が7市町となっています。</p> <p>Q…子ども医療費に対する国と埼玉県の助成について伺いたい。 A…国は子ども医療費に対する助成は実施していません。埼玉県は未就学児童までの助成を実施しています。</p>
	討論	<input checked="" type="checkbox"/> (反対討論0人、賛成討論1人) ・ 無
	採決	全員一致で原案可決
本会議審議	討論	<input checked="" type="checkbox"/> (反対討論0人、賛成討論2人) ・ 無
	採決	全員一致で原案可決

②議案第68号 平成23年度春日部市一般会計決算認定について  
(厚生福祉委員会所管分)

決算の概要 (主なもの)	歳入 (決算額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>民生費国庫負担金</b> (8,858,501,497円) 障害者自立支援給付費負担金や子ども手当負担金、生活保護費負担金等の負担金が国から交付されたものです。</li> <li>・ <b>民生費県負担金</b> (1,971,946,855円) 障害者自立支援給付費負担金や国民健康保険保険基盤安定負担金、子ども手当負担金等の負担金が県から交付されたものです。</li> </ul>
	歳出 (決算額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>介護給付費・訓練等給付費給付事業</b> (1,653,665,698円) 心身障害児・者及び精神障害者の施設への入所・通所、在宅での居宅生活を支援するホームヘルプサービス、児童デイサービス、短期入所及び地域での共同生活を営むグループホーム等の利用に対し、介護給付費・訓練等給付費を支給することにより社会的自立及び社会参加を促進するとともに、激変緩和措置として通所施設での通所サービスに対して支援したものです。</li> <li>・ <b>後期高齢者医療広域連合負担金</b> (1,317,198,446円) 埼玉県後期高齢者医療広域連合の医療給付費等への負担金です。</li> <li>・ <b>介護保険特別会計繰出金</b> (1,802,413,000円) 介護保険特別会計の財政基盤の安定を図るため、保険給付費の法定負担金分(12.5%)、職員給与費分、事務費分及び地域支援事業負担金分を一般会計から繰出したものです。</li> <li>・ <b>国民健康保険特別会計繰出金</b> (2,210,110,044円) 国民健康保険特別会計の財政基盤の安定を図るため、保険税軽減分、保険者支援分、職員給与費及び出産育児一時金等分を一般会計から繰出したものです。</li> <li>・ <b>子ども手当支給事業</b> (4,271,859,324円) 中学校修了前の児童を養育している者に平成23年4月分から子ども手当を支給したものです。</li> <li>・ <b>保育所運営委託事業</b> (1,253,072,272円) 児童福祉法に基づき、保育を委託している民間保育所及び市外公立保育所の運営費を負担したものです。</li> <li>・ <b>生活保護事業</b> (4,846,153,814円) 生活保護法に基づき、被生活保護者に対して生活保護費を支給したものです。</li> </ul>

<p>本会議質疑 (主なもの)</p>	<p>Q…敬老会開催事業における地区別の参加者数と参加率を伺いたい。</p> <p>A… 粕壁地区 対象者数3,639人、参加者数538人、参加率14.8%  内牧地区 対象者数1,029人、参加者数120人、参加率11.7%  幸松地区 対象者数1,782人、参加者数247人、参加率13.9%  豊野地区 対象者数1,597人、参加者数181人、参加率11.3%  武里地区 対象者数5,354人、参加者数451人、参加率 8.4%  豊春地区 対象者数2,740人、参加者数290人、参加率10.6%  庄和地区 対象者数3,476人、参加者数289人、参加率 8.3%</p> <p>Q…児童虐待防止対策緊急強化事業のリーフレットや自動車、電動自転車の活用方法について伺いたい。</p> <p>A…リーフレット20,000枚を市内の保育園、幼稚園、小学校、児童センターなどから子育て家庭へ配布して、児童虐待に対する啓発を行いました。また、自動車や電動アシスト自転車を活用して、通報への対応や家庭訪問、講演会の実施など児童虐待の予防事業を行いました。</p> <p>Q…リサイクルショップ運営事業における売り上げと通所者の収入を伺いたい。</p> <p>A…家具1,907,750円、本・雑貨1,019,636円、自主製品462,340円、加工賃1,304,634円、合計で4,694,360円の売り上げです。また、通所者の収入については、自主製品の売り上げと加工賃の合計1,766,974円を通所者16人の延べ出席日数3,204日で割り返し、1人日額平均551円です。</p>
<p>委員会審査 質 疑 (主なもの)</p>	<p>Q…リサイクルショップ運営事業では、通所者が卒業して就職した後のフォローについて伺いたい。</p> <p>A…定着支援として、職場へ伺ったり、電話などで確認しています。</p> <p>Q…市内児童館を利用する方の地区別割合を伺いたい。</p> <p>A…市内と市外は約8対2で、市内の方の内訳は下記の通りです。</p> <p><b>【エンゼル・ドーム】</b>  粕壁地区26.1% 幸松地区26.8% 豊野地区15.4%  武里地区12.6% 豊春地区 9.2% 内牧地区 3.7%  庄和地区 6.2%</p> <p><b>【ゲーかすかべ】</b>  粕壁地区41.1% 幸松地区19.4% 豊野地区 2.2%  武里地区 8.2% 豊春地区12.7% 内牧地区13.6%  庄和地区 2.8%</p> <p><b>【スマイルしょうわ】</b>  粕壁地区 5.7% 幸松地区 5.5% 豊野地区 4.4%  武里地区 3.0% 豊春地区 4.0% 内牧地区 1.8%  庄和地区75.6%</p>

委員会審査	質 疑 (主なもの)	<p>Q…高齢者施設の大池憩いの家や薬師沼憩いの家には嘱託職員が1人ずつ配置されていますが、幸楽荘や庄和高齢者憩いの家、大枝高齢者憩いの家には配置されていない理由を伺いたい。</p> <p>A…利用者数や問い合わせの量、施設の規模などで業務量を勘案し、大池憩いの家と薬師沼憩いの家に嘱託職員の配置をしています。</p>
	討 論	<input checked="" type="checkbox"/> (反対討論1人、賛成討論1人) ・ 無
	採 決	賛成多数で認定
本会議審議	討 論	<input checked="" type="checkbox"/> (反対討論1人、賛成討論1人) ・ 無
	採 決	賛成多数で認定



③議案第69号 平成23年度春日部市国民健康保険特別会計決算認定について

	被保険者 加入状況 (H24.3.31現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯数 43,061世帯 42.92% (春日部市総数 100,334世帯)</li> <li>・人口 76,405人 31.80% (春日部市総数 240,233人)</li> </ul>
決算の概要 (主なもの)	歳入 (決算額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>国民健康保険税</b> (6,764,456,032円) 国民健康保険税の現年課税分や滞納繰越分です。</li> <li>・<b>国庫支出金</b> (5,586,258,133円) 療養の給付などに対し国から負担金として交付されたものです。</li> <li>・<b>療養給付費等交付金</b> (1,424,700,314円) 退職者医療制度の財源として、社会保険診療報酬支払基金から交付されたものです。</li> <li>・<b>前期高齢者交付金</b> (7,213,218,078円) 前期高齢者(65歳～74歳)の偏在による保険者間の負担の不均衡を調整するため、社会保険診療報酬支払基金から交付されたものです。</li> <li>・<b>県支出金</b> (1,302,824,125円) 定率国庫負担減少分等が調整交付金として、県から交付されたものなどです。</li> <li>・<b>共同事業交付金</b> (2,492,628,368円) 埼玉県国民健康保険団体連合会より、高額医療費共同事業や保険財政安定化に係る交付金が交付されたものです。</li> <li>・<b>繰入金</b> (2,210,110,044円) 財政基盤の安定を図るため、一般会計から繰入れたものです。</li> <li>・<b>繰越金</b> (1,035,426,574円) 前年度からの繰越金や事故繰越しに係る財源繰越額です。</li> </ul>

<p>決算の概要 (主なもの)</p>	<p>歳出 (決算額)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>保険給付費</b> (17,605,306,030 円) 疾病や負傷の治療を目的とした医療サービスに対する現物給付などです。</li> <li>・ <b>後期高齢者支援金等</b> (3,421,312,366 円) 後期高齢者医療制度を支えるため、医療保険の保険者が社会保険診療報酬支払基金へ納付したものです。</li> <li>・ <b>介護納付金</b> (1,380,724,383 円) 医療保険各法の保険者が、介護保険第2号被保険者分の介護保険料を社会保険診療報酬支払基金へ納付したものです。</li> <li>・ <b>共同事業拠出金</b> (2,463,485,691 円) 国民健康保険における保険料の平準化及び財政の安定化を図るため、事業主体である国民健康保険団体連合会に対して、医療費の規模に応じて拠出金を拠出したものなどです。</li> <li>・ <b>諸支出金</b> (1,044,182,055 円) 平成22年度の実績精算に伴い、一般会計へ精算分を繰出したものなどです。</li> </ul>
<p>本会議質疑 (主なもの)</p>	<p>Q…平成23年度決算時の国民健康保険税の滞納繰越額はどのように推移しているか伺いたい。</p> <p>A…平成22年度は約53億4,800万円、平成23年度は約51億7,000万円で、対前年比▲1億7,800万円です。</p> <p>Q…歳入における国庫支出金の占める割合を伺いたい。</p> <p>A…平成18年度 24.3% (54億7,500万円) 平成19年度 22.2% (53億3,200万円) 平成20年度 20.8% (51億2,500万円) 平成21年度 24.2% (61億7,600万円) 平成22年度 23.5% (62億9,300万円) 平成23年度 19.8% (55億8,600万円)</p> <p>国庫負担金の負担割合については平成18年度から34%で変化はありませんので、国民健康保険税や前期高齢者交付金などの、他の歳入科目の状況により増減するものです。</p> <p>Q…法定外繰入金の額と県内順位を伺いたい。</p> <p>A…平成21年度が16億6,000万円で4位、平成22年度が19億5,000万円で2位、平成23年度が9億円で7位となっています。また、1人当りの場合は、平成21年度が21,627円で12位、平成22年度が25,299円で5位、平成23年度が11,645円で23位となっています。</p>	

委員会審査	質 疑 (主なもの)	<p>Q…国民健康保険税1人当りの埼玉県内39市の最高額、最低額、平均額を伺いたい。また、春日部の国民健康保険税の額と埼玉県内で高いほうから何位かを伺いたい。</p> <p>A…最高額は10万8,270円、最低額は6万9,415円、平均額は9万2,420円です。また、春日部市は9万1,074円で県内14位です。</p> <p>Q…特定健康診査の受診率が目標に届かない理由を伺いたい。</p> <p>A…60歳以下の方の受診率が低い傾向があり、若い方の場合、現時点で健康であるとか時間が取れないことが原因だと考えます。</p> <p>Q…1人当りの保険給付に係る費用額の推移を伺いたい。</p> <p>A…平成21年度が26万796円、平成22年度が27万2,092円、平成23年度が27万7,678円と毎年1人当りの費用額が上昇しています。</p>
	討 論	<input checked="" type="checkbox"/> (反対討論1人、賛成討論1人) ・ 無
	採 決	賛成多数で認定
本会議審議	討 論	<input checked="" type="checkbox"/> (反対討論1人、賛成討論1人) ・ 無
	採 決	賛成多数で認定

④議案第70号 平成23年度春日部市後期高齢者医療特別会計決算認定について

決算の概要 (主なもの)	被保険者 加入状況 (H24.3.31現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口 20,519人 8.54% (春日部市総数 240,233人)</li> </ul>
	歳入 (決算額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別徴収保険料 (841,549,370円) 被保険者にかかる後期高齢者医療保険料の特別徴収分です。</li> <li>・普通徴収保険料 (531,359,830円) 被保険者にかかる後期高齢者医療保険料の普通徴収分です。</li> </ul>
	歳出 (決算額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者医療広域連合納付金 (1,612,319,849円) 保険料及び延滞金の平成24年3月末日までの収納分から歳入還付見込額を除いた額、平成22年度精算額並びに低所得者等の保険料軽減額相当額(保険基盤安定負担金)を埼玉県後期高齢者医療広域連合へ納付したものです。</li> </ul>
本会議質疑 (主なもの)	<p>Q…人口、被保険者数、加入率、年齢区分ごとの推移を伺いたい。</p> <p>A…平成21年度 人口 240,587人 被保険者数 17,824人 加入率 7.41% うち65歳～74歳 763人 75歳以上 17,061人</p> <p>平成22年度 人口 240,499人 被保険者数 19,157人 加入率 7.97% うち65歳～74歳 734人 75歳以上 18,423人</p> <p>平成23年度 人口 240,233人 被保険者数 20,519人 加入率8.54% うち65歳～74歳 697人 75歳以上 19,822人</p> <p>平成21年度と平成23年度を比較すると、人口が354人減、被保険者数が2,695人増、うち65歳～74歳が66人減、75歳以上が2,761人増、加入率が1.13%増となっています。</p> <p>Q…保険料の推移と、埼玉県広域連合の保険料の全国順位を伺いたい。</p> <p>A…平成20年度 76,544円 (全国4位) 平成21年度 75,220円 (全国4位) 平成22年度 71,847円 (全国6位) 平成23年度 71,604円 (全国6位) 平成23年度は、東京、神奈川、大阪、愛知、福岡に次いで全国6位です。</p> <p>Q…滞納者に対する短期被保険者証や資格証明書の発行状況を伺いたい。</p> <p>A…短期被保険者証は、前年度の保険料の9割以上の滞納がある方のうち、納付相談等に応じない方や納付相談等により取り決めた保険料納付方法を履行しない方を対象としていますが、平成23年度分保険料の滞納者で、交付された方はおりません。また、資格証明書は、特別な事情なく1年以上保険料を滞納している方が対象ですが、交付した実績はありません。</p>	

委員会審査	質疑 (主なもの)	<p>Q…低所得の方に後期高齢者医療保険料の滞納が多いようですが、生活が困窮して支払いが難しい方を対象に、さらに軽減をすることができないか伺いたい。</p> <p>A…保険料の減免や免除は、埼玉県後期高齢者医療広域連合の条例で規定されており、埼玉県内で統一した扱いとなるため難しいものです。</p> <p>Q…後期高齢者医療保険料の全国最高額と最低額、また平均額と埼玉県が全国で高い方から何番目かを伺いたい。</p> <p>A…最高額は8万6,023円、最低額は3万5,778円、平均額は6万2,659円です。埼玉県については7万1,604円で全国6番目です。</p> <p>Q…過去の大きな保険証に馴染んだ方は、現在の小さな保険証が使いづらいのですが、大きなものに変更することはできないのか伺いたい。</p> <p>A…埼玉県後期高齢者医療広域連合で一定の規格で実施されているもののため、春日部市独自の様式は難しいものです。</p>
	討論	<input checked="" type="checkbox"/> (反対討論1人、賛成討論1人) ・ 無
	採決	賛成多数で認定
本会議審議	討論	<input checked="" type="checkbox"/> (反対討論1人、賛成討論1人) ・ 無
	採決	賛成多数で認定

⑤議案第71号 平成23年度春日部市介護保険特別会計決算認定について

決算の概要 (主なもの)	被保険者 加入状況 (H24.3.31現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口 54,697人 22.77% (春日部市総数 240,233人)</li> </ul>
	歳入 (決算額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>保険料</b> (2,486,938,490円) 第1号被保険者にかかる介護保険料です。</li> <li>・<b>国庫支出金</b> (1,900,331,550円) 介護給付費負担金や補助金が国から交付されたものです。</li> <li>・<b>支払基金交付金</b> (3,054,563,656円) 介護給付費交付金や地域支援事業支援交付金が社会保険診療報酬支払基金から交付されたものです。</li> <li>・<b>県支出金</b> (1,534,873,076円) 介護給付費負担金や地域支援事業交付金が県から交付されたものです。</li> <li>・<b>繰入金</b> (2,218,536,000円) 一般会計からの繰入金等です。</li> </ul>
	歳出 (決算額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>居宅介護サービス給付事業</b> (4,405,230,258円) 在宅において介護を受ける要介護認定者に対し、介護サービス費の9割を給付したものです。</li> <li>・<b>施設介護サービス給付事業</b> (3,509,070,476円) 施設において介護を受ける要介護認定者に対し、介護サービス費の9割を給付したものです。</li> </ul>
本会議質疑 (主なもの)	<p>Q…保険料の滞納者数と滞納額を伺いたい。</p> <p>A…現年度分では滞納者数1,507人で、滞納額の合計は44,968,970円です。</p> <p>Q…地域密着型介護サービス給付費の第4期事業計画期間中の事業所の整備状況を伺いたい。</p> <p>A…夜間対応型訪問介護は利用がほとんど無く、平成23年7月に廃止しました。また、認知症対応型通所介護は2施設を整備予定でしたが、公募に応じる事業所が無く4期末現在ありません。また、小規模多機能型居宅介護は平成21年度に1施設廃止し、平成22年度と平成23年度に各1施設整備され、4期末現在2施設で定員50人です。また、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)は平成23年度に1施設整備され、4期末現在10施設で定員171人です。また、地域密着型特定施設入居者生活介護(地域密着型有料老人ホーム)は2施設を整備予定でしたが、平成22年度に1施設を整備したのみで4期末現在1施設で定員29人です。また、地域密着型介護老人福祉施設は計画期間中に整備しておりません。</p>	

<p>本会議質疑 (主なもの)</p>	<p>Q…特別養護老人ホームの入所待機者数を伺いたい。 A…平成24年7月現在で413人です。</p>	
<p>委員会審査</p>	<p>質疑 (主なもの)</p>	<p>Q…保険給付費の対象となる施設の数と定員を伺いたい。 A…平成23年度末現在で、特別養護老人ホームが10施設で定員763人、介護老人保健施設が3施設で定員374人、介護療養型医療施設が3施設で定員198人です。 Q…介護保険の財源に対する、国、県、市の負担割合を伺いたい。 A…国は介護保険の財源として給付費の25パーセントを負担するとされていますが、このうち5パーセントが調整交付金とされており、本市は後期高齢者の割合が全国平均より低いことから調整交付金が交付されません。そのため、国が20パーセント、県と市がそれぞれ12.5パーセントを負担しています。 Q…地域包括支援センターの対象者数を伺いたい A…第1地域包括支援センターが6,491人 第2地域包括支援センターが6,523人 第3地域包括支援センターが7,015人 第4地域包括支援センターが6,461人 第5地域包括支援センターが6,373人 第6地域包括支援センターが7,438人 第7地域包括支援センターが6,807人 第8地域包括支援センターが8,712人です。</p>
	<p>討論</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> (反対討論1人、賛成討論1人) ・ 無</p>
	<p>採決</p>	<p>賛成多数で認定</p>
<p>本会議審議</p>	<p>討論</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> (反対討論1人、賛成討論1人) ・ 無</p>
	<p>採決</p>	<p>賛成多数で認定</p>

⑥議案第77号 平成23年度春日部市病院事業会計決算認定について

<p>決算の概要 (主なもの)</p>	<p>・ <b>決算の概要</b></p> <p>収益的収入 6,758,467,707円          収益的支出 6,717,595,373円</p> <p>資本的収入 480,566,508円          資本的支出 382,453,667円</p> <p>・ <b>解説</b></p> <p>収益的収支とは          当該年度の企業の経営活動で発生する収益(収入)と、それに対応する費用(支出)で、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体です。支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物などの固定資産の減価償却費などが計上されます。</p> <p>資本的収支とは          企業の事業によるサービス提供を維持し、将来的な利用増に対処するとともに、経営規模の拡大を図るために要する諸設備の整備・拡充などの資産の取得に要する経費や、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と、資産の取得に要する企業債などの収入が計上されます。</p>
<p>本会議質疑 (主なもの)</p>	<p>Q…外来患者の待ち時間の解消について伺いたい。          A…非常勤医師の活用による外来診療体制の強化や予約診療の拡大により待ち時間の改良に取り組んでいます。また、平成21年4月から外来診療科の一部に医師事務作業補助者(医療クラーク)を配置して、医師が診療業務に専念できる体制づくりに取り組み、診療の効率化を図っています。          また、待ち時間が長引いたために生じる不快感を緩和するための対策として、外来診療の総合的な相談に応じる医療コンシェルジュを配置するなど、患者満足度向上に配慮しています。</p> <p>Q…医師、看護師の確保の見通しについて伺いたい。          A…全国的な勤務医不足や看護師不足で大変厳しい状況ですが、院内託児室を設置するなど医師・看護師の確保に積極的に取り組んでいます。今後においても、医師については関連大学との連携を密にとり、看護師については市立看護専門学校以外の看護専門学校等への訪問や病院説明会を開催し、市立病院の魅力等について積極的にPRして確保に努めてまいります。</p> <p>Q…診療材料、給食材料の備蓄状況、ならびに災害時の対策について伺いたい。          A…薬品については薬7日分、飲料水については170トンの容量を有する受水槽があり、通常使用で約1.5日分、飲用等限定的な利用では数日間の使用が可能です。また、食料については、常時2~3日分の米や乾物、冷凍食品等の在庫を確保しています。</p>



委員会審査	質 疑 (主なもの)	<p>Q…看護師の確保状況を年度別に伺いたい。</p> <p>A…過去5年間の年度末時点ですが、平成19年度が205名、平成20年度が222名、平成21年度が226名、平成22年度が227名、平成23年度が246名です。</p> <p>Q…新病院建設に向けての取り組み状況を伺いたい。</p> <p>A…事業管理者、病院長、副院長、各部門長等で構成する医療専門部会を院内設置し、再整備基本計画の検証作業のほか、新病院移行後の運営に係る検討課題の整理などについて協議・検討を行いました。</p> <p>Q…委託料が増額（約23,600千円）となった理由を伺いたい。</p> <p>A…主な理由は、平成24年3月に医療情報システムを更新したことに伴い、医事業務電算保守委託料が約3,000千円、医療情報システム接続業務委託料が約3,000千円、また、患者数の増加や予定していた小児病棟の再開に伴う業務量の増加に対応するため、医事業務委託料が約11,800千円増額となったものです。</p>
	討 論	有（反対討論0人、賛成討論0人） ・ <input type="checkbox"/>
	採 決	全員一致で認定
本会議審議	討 論	有（反対討論0人、賛成討論0人） ・ <input type="checkbox"/>
	採 決	全員一致で認定